

松っ子だよ！

平成28年12月22日(木)
 松沢小学校だよ！No. 8
 文責：校長 星 俊 夫

☆ 2学期が無事、笑顔で終わりました！

あっという間に2学期が終わりました。

12月に入り、胃腸炎やインフルエンザ流行の兆しが南会津町にも見られ心配しましたが、無事冬休みを迎えることができ、たいへんうれしく思います。

子どもたちが全員、大きな事故などもなく元気に生活できたことが、何よりも大きな成果です。2学期も沢山の行事があり、予定通り実施することができました。これも保護者・地域の皆様のご協力のおかげだと感謝申し上げます。

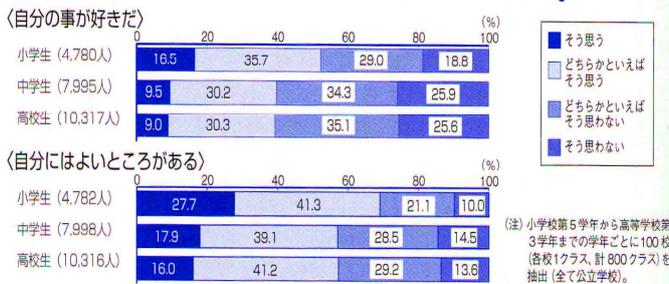
3学期も笑顔かがやく元気な学校で1年間のまとめをしていきたいと考えます。よろしくお祈りします。



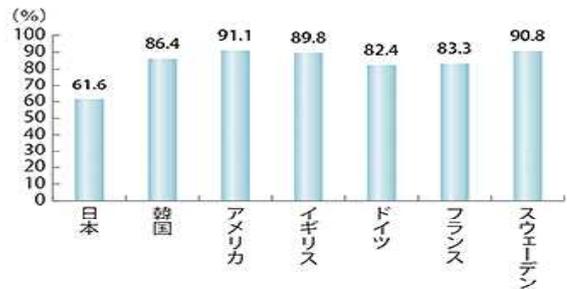
ひまわり学級みんなで福笑いです！！

☆ 自分らしさに気づき磨くこと ～1年をふり返って～

● 小・中・高校生 自立・自己意識 (平成26年度) ●



図表8 将来への希望



(注) 「あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか」との問いに対し、「希望がある」「どちらかといえば希望がある」と回答した者の合計。

左上の表は「自分の事が好きだ」と思っている日本の小学生が約半数、中・高校生は40%に満たない。という文科省の調査結果です。子どもたちの自己肯定感や自尊感情を育むことが大きな教育課題となっています。

また、右上の図表8は、「自分の将来に明るい希望を持っていますか」という問いに対して、「ある、どちらかといえばある」と回答した日本の子ども・若者は、全体の6割と諸外国と比べて最も低い結果がでています。

自分の将来に明るい希望を持てるかどうかは、自分を肯定的にとらえているかどうかが大きく関係しています。実際、自己肯定感の高い子どもは、将来への希望をもっている割合が高いことをこの調査は示しています。また、自己肯定感の高い子どもは、家庭や学校生活に満足している傾向があることも明らかになってきています。

したがって、子どもの自己肯定感を高めるには、充実した家庭や学校生活をもてるような環境づくりを進めていくことが大切になってきています。

家庭・学校・地域が一つになって、子どもの成長を温かく見守り、支えることのできる土台(セイフティプラットフォーム)づくりを進めていくことが、子どもたち一人一人の夢と希望に直結しているといっても言い過ぎではありません。

◎ 時間はかかっても、最後までがんばっている〇〇さん、〇〇くん。

◎ 算数の九九では、9の段はまだ未習ですが「2×9と9×2の」答えは同じ。と交換法則を活用し答えを導く姿はとても生き生きしている〇〇くん。

◎ 「ぼくは道徳が得意だ」と胸をはる〇〇くん。

子どもながらに、日々たくましさを感じる場面が数多く見られます。

このように生き生きとした「自分」を後押しするのは、無意識ですが「自分を認めている」あるいは「自分に満足している」肯定的な意識です。また、そういう子どもの姿に、周囲の人たちの温かで愛情あふれる関わりがあることは当然なことです。

子ども一人一人の「自分らしさ」の心の成長に積極的に寄り添い、無条件に受容することが、今、教育で一番大切なことではないかと、改めて感じた2学期でした。

☆ 46名の桧っ子にひとつこと……。



2学期が今日で終わりました。46名全員が終業式に臨むことができ、たいへんうれしく思います。明日から冬休みに入ります。みんなうきうきしていることでしょう。

大晦日(おおみそか)やお正月は、家族の人たちと楽しい時間をすごせるよう願っています。

食べ過ぎ飲み過ぎには気をつけてください。私も気をつけます。また、カゼなど引かないように健康に気をつけてください。

さて、毎年のことですが、2学期は忙しかったですね。一人一人よく頑張ったと思います。今もはっきり覚えています。水泳記録会で、佐藤梨花さんが見事50mを泳ぎ切ったとき、そこにいた多くの人が歓声を上げ、彼女の頑張りを拍手で讃えました。これがチーム桧沢の目指す姿であり、2学期の最高のスタートでした。

陸上大会、音楽祭、桧っ子発表会、マラソン大会、合同学年行事などたくさんありました。先生方は、一つ一つの活動に一人一人が活躍できるように話し合いながら、みなさんといっしょに取り組みました。みなさんのお父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあさんにもたくさん協力していただきました。本当にありがたいです。

多くの人達があなたたちを支えてくれているんですね。そんな温かい思いに応えるように、ひとつひとつの活動に生き生きとがんばる姿がありました。たくさんあって思い出せません。それでも、ときには、うまくいかないこともあるのはあたりまえです。失敗することは悪いことではありません。まちがうことだって悪いことではありません。だれだってうまくいかないときがあるんです。

自分の中に「ぼくはダメだ」「わたしは役に立たない」「愛されていない」というような気持ちをいっぱいかかえてしまうと、失敗したり、まちがうたびに、自分が本当の自分でなくなってしまうことになってしまいます。かんとんにいうと、「ごめんなさい」や「ありがとう」とすなおに言うことができない人になってしまうということです。

みなさん一人一人に「自分は自分のままでいいんだ」と思える感覚、気持ちをもってほしい。そこから始まるんだと私はいつも思っています。そう思って生活していると、言われなくてもがんばります。笑顔がふえてきます。しらないうちに、新しい自分を自分自身でどんどん育てていくんです。

つまりですね、みなさん一人一人に「自分らしさ」に胸をはってほしいということです。

そこで、私の出す冬休みの宿題ですが……。

「あなたの「自分らしさ」はどんなところですか？」

お家の人といっしょに考えてください。

それでは、よいお年をお迎えください。

1月10日の始業式では、また元気な笑顔に会えますように……。

来年はとり年、どうぞよろしく!
(年男です……)

